

○目標を達成するための具体的な取り組み ●:実施済み、◎:継続実施、○:実施予定、△:協力等、-:対象なし

具体的な取組の柱 事項 主要内容	課題の整理記号	目標時期	取組機関																		
			三重・京都圏域ブロック					奈良圏域ブロック				府県			国				水資源機構		
			津市	名張市	伊賀市	笠置町	南山城村	宇陀市	山添村	曾爾村	御杖村	三重県	京都府	奈良県	気象台	近畿地整	河川事務	木津川上流		砂防事務所	紀伊山系
1. ハード対策の主な取組																					
①洪水を河川内で安全に流す対策に関する事項																					
河川整備計画に基づく河川改修の実施	P	順次実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	◎	-	-	-	◎	-	-
河道内樹木の伐採や堆積土砂の除去等(多数の家屋や重要施設等の浸水が想定される区間の保全対策)	P	順次実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	◎	◎	-	-	-	◎	-	-
川上ダムの建設及び管理	P	建設:R4年度完了予定/ 管理:R5年度以降	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎
ダム等の洪水調節機能の向上・確保 (ダム管理区間における浚渫等によって発生する建設発生土の処理・活用方法、対策後の継続的な維持管理のあり方について検討、事前放流の実施、ダム再生の検討・ダム湖の堆砂除去)	P	順次実施	-	-	◎	-	-	△	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	◎
河川管理施設、砂防施設の長寿命化	O	順次実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	○	-	-	-	◎	◎	-	-
②危機管理型ハード対策に関する事項																					
堤防天端の保護	Q	実施済み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	●	-	-	-	●	-	-	-
裏法尻の補強	Q	実施済み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	●	-	-	-	●	-	-	-
本川と支川の合流部等の対策 (堤防決壊が発生した場合に人名被害が生じる恐れのある区間において堤防強化対策を実施)	Q	実施済み	-	-	●	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③内水対策に関する事項																					
雨水排水施設や雨水管きよ・下水管きよを活用した内水排除等の整備	R	順次実施	-	-	◎	-	-	◎	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④避難行動、水防活動に資する基盤等の整備																					
円滑かつ迅速な避難に資する施設のハード整備	E	実施済み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
排水施設の整備及び耐水化、庁舎の耐水対策	O	H28年度から 順次実施	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	△	-	-	-	◎	-	-	-
⑤流出抑制に関する事項(洪水、土砂、流木)																					
調整池の整備(田んぼダムの整備、ため池の治水利用)	S	R3年度から 順次実施	●	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
森林の整備・保全	S	順次実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	◎	-	-	-	-	-	-	-
2. ソフト対策の主な取組(①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組)																					
①情報伝達、避難計画等に関する事項																					
避難勧告に着目したタイムラインを策定(あわせて県～市間のホットラインを構築)	B	実施済み	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	-	●	-	△	-	●	-	-
わかりやすい洪水予報文の改良と運用	C	実施済み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	●	-	-	-
避難所における感染症対策	B	順次実施	●	◎	○	○	●	●	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
避難情報の発令基準の見直し	B	H29年度から 順次実施	○	◎	○	○	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-
多機関連携型タイムラインの拡充 (公共交通機関も参画したタイムライン策定)	B	順次実施	-	◎	-	○	-	●	○	○	○	-	△	△	-	△	-	●	-	-	-
②平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項																					
想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図及び家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表(水害リスク情報の空白域の解消)	A	H28年度から 順次実施	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	◎	●	◎	-	-	-	◎	-	-	-
洪水ハザードマップの策定・周知	D	H28年度から 順次実施	◎	◎	○	○	○	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
内水ハザードマップの策定・周知	D	順次実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小中学校における水災害教育を実施	G	H28年度から 順次実施	◎	◎	◎	△	○	△	△	○	-	-	△	◎	◎	◎	-	◎	-	-	△

○目標を達成するための具体的な取り組み ●:実施済み、◎:継続実施、○:実施予定、△:協力等、-:対象なし

具体的な取組の柱 事項 主要内容	課題の整理記号	目標時期	取組機関																
			三重・京都圏域ブロック					奈良圏域ブロック				府県			国			水資源機構	
			津市	名張市	伊賀市	笠置町	南山城村	宇陀市	山添村	曾爾村	御杖村	三重県	京都府	奈良県	気象台	近畿地整	河木津川上流	砂防事務所	紀伊山系
4. ソフト対策の主な取組(③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組)																			
①排水活動及び施設運用の強化に関する事項																			
氾濫水を迅速に排水するため、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した木津川上流域排水計画(案)を作成	L	実施済み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-
排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練を実施	L	H28年度から順次実施	○	○	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-
水災害のBCP(事業継続計画)を作成	I	H28年度から順次実施	●	○	●	●	-	○	○	○	-	-	△	△	-	-	-	●	-
②土地利用に関する事項																			
浸水被害軽減地区の検討、災害危険区域の検討	M	R3年度から順次実施	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	△	-	-	-	-	-	-
適切な土地利用の促進及び周知、土地利用誘導、災害危険区域の指定	M	R3年度から順次実施	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	△	-	-	-	-	-	-
5. 土砂災害に対するハード対策に関する取組																			
①防災施設の整備等																			
砂防堰堤の補修及び砂防堰堤の設置	AE	順次実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	○	-	-	-	-	-	◎
要配慮者利用施設、避難所の安全対策の強化	AE	順次実施	-	-	-	-	-	○	○	-	○	-	-	◎	-	-	-	-	○
6. 土砂災害に対するソフト対策に関する取組																			
①土砂災害防止法に基づく事項																			
基礎調査の実施	T	H28年度から順次実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	◎	-	-	-	-	-
基礎調査の公表	T	H28年度から順次実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	◎	-	-	-	-	-
土砂災害警戒区域(イエローゾーン)および土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)の指定	T	H28年度から順次実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	◎	-	-	-	-	-
地域防災計画への反映	U	実施済み	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	-	△	-	-	-	-	-
ハザードマップ作成	V	H28年度から順次実施	●	●	●	●	○	●	●	●	●	△	-	△	-	-	-	-	-
②土砂災害に対する情報伝達、避難計画等に関する事項																			
避難情報の発令基準の見直し	X	H28年度から順次実施	●	●	○	●	●	●	●	●	●	△	△	△	-	-	-	-	-
タイムラインの作成	W	H28年度から順次実施	○	●	○	○	●	●	○	●	●	△	△	△	△	△	-	-	-
避難情報を対象者へ確実に届けるための災害情報の充実と整理(災害予測手法・システムの整備、警戒レベルや危険度分布の表示等)	Y	順次実施	●	◎	○	○	◎	◎	○	-	○	○	●	◎	●	●	-	-	△
土砂災害の教育、土砂災害対策事業の啓発活動の実施	AA	引き続き実施	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	○	△	△	◎	◎	◎	-	-	◎
地区防災計画(自治会単位)の作成	Z	H28年度から順次実施	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●	△	△	△	-	-	-	-
③土砂による被害の軽減、避難時間の確保のための防災活動の取組に関する事項																			
毎年、消防団や地域住民が参加し土砂災害リスクの高い箇所の共同点検を実施	AB	H28年度から順次実施	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	△	-	-	-	-
避難訓練(広域、自治会単位)の実施	AC	引き続き実施	●	●	●	○	●	●	○	●	●	△	△	△	●	●	-	-	-
④一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための復旧活動の取組に関する事項																			
土砂災害に対するBCP(事業継続計画)を作成	AD	H28年度から順次実施	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	-	△	△	△	-	-	-
7. 複合災害に対するソフト対策:逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 など																			
①複合災害に対する情報伝達、避難計画等に関する事項																			
複合災害を対象とした被害想定等の検討を行い、複合災害の被害想定等を対象とした取組を推進	AF	実施済み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●
土砂災害・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所のうち緊急性が高い箇所などについて検討及び情報共有	AF	R3年度から順次実施	●	-	-	-	●	-	○	○	○	●	○	●	△	△	-	△	-
砂防堰堤、遊砂地等の整備と河川改修等が連携した効率的な対策を実施すべき箇所について検討	AF	R3年度から順次実施	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	●	-	-	-	○